

二〇〇七年市民社会川柳ベスト一〇

NPO法人市民社会研究所のホームページ上で原則毎日更新している「市民社会川柳」の中から、会員の投票により、二〇〇七年のベスト一〇を選びました。投票数の多かった順に並べています。

- 一 うっかりと出る失言という本音（作 吉武三和子 市民研究員）
- 二 問題点並べて終わる学識者（作 松井真理子 代表）
- 三 青虫も人も食べたい無農薬（作 浅沼よし子 市民モニター）
- 四 悪役はむかし代官いま次官（作 坂東行和 顧問）
- 五 「あと頼む」遺書で指示する生き地獄（作 金 憲裕 事務局長）
- 六 辞め方で歴史に残る安倍首相（作 松井真理子 代表）
- 七 結局はお上が偉い民営化（作 松井真理子 代表）
- 八 厳粛に受け止めますで事は済み（作 吉武三和子 市民研究員）
- 九 エレベーター乗ると目が行く製造社（作 吉武三和子 市民研究員）
- 十 門前の不正許さぬアマテラス（作 松井真理子 代表）

【番外 市民社会研究所の活動から】

訃報聞く良いも悪いも生きてこそ（作 松井真理子 代表・金 憲裕 事務局長）

市民協働研究会のパートナーだった、故水谷優志四日市市議会議員の突然の訃報に接して。

沖縄が人ごとでない研修後（作 金 憲裕 事務局長）

八月末にSSK会員八名で行った沖縄の平和学習は、一人一人に強烈な印象を残しました。